

令和6年4月18日

令和6年度 東京都立青山特別支援学校 学校経営計画

校長 中澤 将人

はじめに

東京都特別支援教育推進計画（第二期）第二次実施計画の基本理念である、「共生社会の実現に向け、障害のある幼児・児童・生徒の自立を目指し、一人一人の能力を最大限に伸ばして、社会に参加・貢献できる人間を育成」を踏まえた取組みを継続する。また、東京都教育ビジョン（第5次）で示された令和10年度までの5年間の取り組むべき基本的な方針を念頭にした学校経営を推進する。

今年度、目指す学校（目指す児童・生徒、目指す教職員像）と本校の校訓「小さな一歩の継続」の積み重ねを踏まえ、東京都教育ビジョン（第5次）の三本柱（自ら切り開く力の育成、誰一人取り残さないきめ細やか教育の充実、子どもたちの学びを支える教職員・学校の力の強化）を念頭にした学校教育の実現を目指す。

## I 目指す学校

「地域でたくましく生きるために、児童・生徒の可能性を引き出し、伸ばす学校」

### 1 セーフティ（あたたかな安心・安全）

- (1) 児童・生徒が安心して学ぶことができる学校
- (2) 保護者が安心して子供を通わせたい学校
- (3) 地域が安心して応援をしたくなる学校
- (4) 教職員がやりがいをもち、安心して勤務ができる学校

### 2 スペシャリティ（専門性の向上）

- (1) 個に応じた教育を推進する学校
- (2) 個々の教職員の専門性と学校全体の専門性が向上する学校
- (3) 関係機関と連携し特別支援教育のセンター的機能を果たす学校

### 3 コミュニティ（校内外との連携）

- (1) 保護者と連携を大切にする学校
- (2) 地域社会との信頼関係を高める学校
- (3) 教員同士が風とおしくチームで高め合う学校

### 4 サステナビリティ（持続可能な学校）

- (1) 児童・生徒が将来の生きる力が付けられる学校
- (2) 会議の書面開催や紙ベースを削減するなど、効果的・効率的な学校運営ができる学校
- (3) 教職員が培った力が、本校の教育として積み上げられる学校

目指す児童・生徒像

- 1 あいさつのできる子 （コミュニケーション力、社会性）
- 2 おもいやりのある子 （人間性、道徳心）
- 3 やるきのある子 （主体性、積極性、自己肯定感）
- 4 まなべる子 （基礎・基本的な力の習得、生涯学習）

## 目指す教職員像

- 1 知的障害特別支援学校の一員として、専門性を活かし責任を果たす教職員 (専門性)
- 2 根拠に基づく教育課程を編成し、実施・評価・改善を行う教職員 (根拠性)
- 3 保護者や地域と連携し、地域貢献を積極的に行う教職員 (協調性)
- 4 互いを称賛し、信頼し、進んで協力し、英知を結集することを惜しまない教職員 (利他性)

## Ⅱ 中期的目標と方策

- 1 人権尊重の精神に基づく教育活動の推進
  - (1) いじめや体罰、不適切な指導等のない人権に配慮した教育活動の推進
  - (2) 他者への思いやりなど、豊かな心を一人ひとりの子どもたちに育む教育の推進
  - (3) 児童・生徒の生活年齢や信条に配慮した教育活動の推進
- 2 安心・安全な教育環境の整備
  - (1) 校舎内外の環境整備・安全対策
  - (2) 防災教育・防災対策の推進
  - (3) 家庭や医療機関等関係機関と連携した指導の推進
  - (4) 学校関係者が働きやすい職場環境の推進
- 3 自立と社会参加を目指した教育の充実
  - (1) 学習指導要領を踏まえた教育課程の編成・実施・管理及び改善
  - (2) キャリア教育を見据えた地域資源の活用と交流活動の推進
  - (3) アセスメント、外部専門員の活用による授業改善
  - (4) ICT 機器等を活用した多様な学びの推進
- 4 地域における特別支援教育のセンター的機能の充実
  - (1) 特別支援教育コーディネーターを中心としたセンター的機能の充実
  - (2) 区教育委員会や近隣の就学前施設、小・中・高等学校、特別支援学校等との連携による特別支援教育の理解推進
  - (3) 区教育委員会と連携した副籍制度、交流及び共同学習の促進
- 5 組織的・機能的な学校運営
  - (1) 教員が心身ともに健康に、やりがいを感じながら、職務に取り組める環境の整備
  - (2) 業務の効率化や職場環境の整備等による働き方改革の促進
  - (3) 情報システムや人的資源の有効活用
  - (4) 経営企画室と連携した自立経営予算の適正な執行
- 6 学校経営を担うミドルリーダーの育成
  - (1) 主幹教諭・指導教諭と主任教諭のライン管理による業務の平準化
  - (2) 主任教諭の役割の明確化
  - (3) キャリアプランに基づいた人材育成の推進
  - (4) OJT システムの活用による職層に応じた人材育成の推進

### Ⅲ 今年度の経営における重点テーマ

#### 『チーム青山による「継続と改善」』

「自ら切り開く力の育成」「誰一人取り残さないきめ細やか教育の充実」「子どもたちの学びを支える教職員・学校の力の強化」念頭に学校教育の実現を図っていく。

さらに、全教職員の業務の平準化や効率化を図ることで、働き方改革を強力に推進する。

### Ⅳ 今年度の取組目標と具体的方策

#### 最重点項目

- 児童・生徒、保護者、地域から信頼され、教職員が安心して勤務できる学校
- 教職員の特別支援教育の専門性の向上を図り、組織力を高め持続可能な学校の構築
- 児童・生徒の自己肯定感、自己有用感を育むキャリア教育の推進
- 児童・生徒が主体的に学べる環境設定「青山ベーシック」の確立
- 児童・生徒の健康づくりの推進及び定着

#### 1 学習指導

NO	具体的な方策・取組目標（成果指標）	
1	方策	個別指導計画、学校生活支援シート等に基づいた適切な指導の実施
	目標	学校評価での保護者の学習指導に関する肯定的評価95%以上
2	方策	東京都教育ビジョン及び「未来の東京戦略」等に基づいたICT機器等を活用した授業の充実
	目標	学校評価での保護者及び教員のICT機器を活用した指導に関する肯定的評価90%以上
3	方策	「青山ベーシック」の確立（児童・生徒が主体的に学習できるよう、指導方法の工夫、視覚的で分かりやすい校内表示、学習環境の構造化等の整備）
	目標	学校評価での保護者及び教員の学習指導及び生活指導に関する肯定的評価90%以上
4	方策	児童・生徒一人一人の障害や特性に応じた指導（視覚支援、コミュニケーション力育成等）の実践
	目標	学校評価での保護者及び教員の肯定的評価95%以上
5	方策	アセスメント等に基づいた一人1回研究授業の実施と授業改善
	目標	【全教員】
6	方策	学習指導要領に準拠した授業実践をとおり、系統及び指導内容の整理等の年間指導計画の見直し
	目標	教育課程上の課題の列挙及びその教育課題解決に向けた研究計画立案・実施 【4級職／教務・研究研修／全教員】
7	方策	外部専門員等を活用した指導の充実
	目標	学校評価での教員の学習指導に関する肯定的評価90%以上／ 【学校運営連絡協議会委員による評価】

## 2 生活指導・進路指導

NO	具体的な方策・取組目標（成果指標）	
1	方策	事故ゼロを目指し、組織的な安全点検の実施と環境整備日の実施
	目標	学校評価での保護者及び教員の肯定的評価95%以上
2	方策	スクールバスの円滑で安全な運行の徹底
	目標	連絡会毎月・研修会年2回／スクールバス関係での事故件数0件／ 学校評価での保護者及び教員の肯定的評価90%以上
3	方策	「青山のキャリア教育」に基づく、児童・生徒の可能性を伸ばす指導の実践と保護者への説明
	目標	学校評価での保護者及び教員の肯定的評価90%以上
4	方策	企業や関係機関と連携した、保護者に対する進路指導に関する研修会等の実施による情報提供の充実
	目標	学校評価での保護者及び教員の肯定的評価90%以上
5	方策	災害時や不審者対応の準備・取組の徹底と危機管理マニュアルの見直し
	目標	学校評価での保護者及び教員の肯定的評価95%
6	方策	生活年齢や発達年齢を考慮しながら、児童・生徒に身に付けさせたい力を的確に把握した指導の推進
	目標	学校評価での保護者及び教員の肯定的評価95%

### 3 特別活動・その他（安心・安全、健康づくり、地域交流等）

NO	具体的な方策・取組目標（成果指標）	
1	方策	毎月実施する「青山人権週間」を活用し、人権意識を高め、人権に配慮した教育活動の徹底（呼称、言葉遣い）、体罰、不適切な行為の撲滅
	目標	学校評価での保護者・教員の肯定的評価95%以上
2	方策	医療的ケア安全委員会での確実な実施、アレルギー対応研修会及びマニュアルの改訂
	目標	食物アレルギー及び医療的ケアに関する学校事故0件
3	方策	感染予防意識を高め、使用教室等の衛生管理
	目標	学校評価での保護者・教員の肯定的評価95%以上
4	方策	基礎体力づくり等の継続的な実施
	目標	学校評価での保護者・教員の肯定的評価95%以上
5	方策	地域や家庭への理解啓発を促すための各通信等の発行
	目標	月1回以上
6	方策	近隣の小・中学校、高等学校、特別支援学校等との連携
	目標	各学部10回以上
7	方策	区教育委員会や地域指定校との連携による副籍交流の実施
	目標	実施率80%
8	方策	就学前機関（幼稚園・保育園等）や地域の小・中学校、関係機関等との連携強化と指導・助言の実施
	目標	年30回以上
9	方策	ホームページの充実と進路だよりやセンター的機能通信、X（旧 Twitter）等、本校の情報発信
	目標	120回以上
10	方策	外部人材を活用した図書整理と読書活動の推進
	目標	年間貸し出し件数、200冊以上/ 学校評価での保護者・教員の肯定的評価80%以上
11	方策	学校生活支援シート等を活用し、家庭、医療、福祉等の関係機関との引継ぎ連携
	目標	学校評価での保護者・教員の肯定的評価95%以上
12	方策	学校2020レガシーを推進するため、外部人材を活用した地域貢献の推進
	目標	各学部10回以上

#### 4 学校運営・組織体制

NO	具体的な方策・取組目標（成果指標）	
1	方策	教職員一人一人が「青山のルール」に基づいた行動の徹底
	目標	学校評価での保護者及び教員の肯定的評価95%以上
2	方策	組織を明確にし、教職員が個々の役割を果たし、組織力を高め、働きやすい職場環境の推進
	目標	【各種会議体、全教員】
3	方策	ミドルリーダーを中心とした円滑な学校運営と人材育成
	目標	【各種会議体、全教員】
4	方策	校内外の関係者評価に基づく学校評価の実施
	目標	学校運営連絡協議会及び評価委員会、年3回以上
5	方策	学校経営計画のサービス事故防止研修、ヒアリング等によるサービス規律の徹底
	目標	年5回以上／サービス事故0件
6	方策	定時退庁日やの設定や諸会議等の工夫による超過勤務時間の削減
	目標	全教職員の年間での平均超過勤務時間25時間以下／月、【全教員】
7	方策	適切な予算編成及び計画的な予算執行の徹底
	目標	センター契約75%、【全教職員】
8	方策	委託業者（給食調理、清掃業者）との円滑な連携
	目標	連絡会月1回